

かがやく明日のために

# With You NAGANO

長野市男女共同参画情報紙「With You」は、男女共同参画社会づくりに向け、年に3回、市民編集委員が様々な視点から情報を発信しています。今回は、平成29年度 長野市男女共同参画優良事業者のご紹介です。

《優良事業者選定理由》  
●女性アルバイトが正社員から管理職に登用されており、女性従業員の励みと目標になっている  
●育児休暇制度を、パート従業員を含め毎年数名が利用しており、他の模範となっている

## 平成29年度 長野市男女共同参画優良事業者ご紹介 中谷商事株式会社様 受賞

長野市では、男女が共に能力を発揮しやすい職場環境づくりの観点から、男女共同参画の取り組みを積極的に行っている市内の事業者を毎年表彰しています。平成29年度は、映画館「長野グランドシネマズ」を運営している中谷商事株式会社様が受賞しました。その取り組みについて、代表取締役の中谷富美子さん、興行部長の村石佳奈子さん、フロア・ディレクターの岡本真理子さん、育児休暇を取得し現在も活躍されている東漸淑美さんの4人にお話を聞きました。



平成30年1月23日の表彰式において、加藤市長から賞状と記念の盾が手渡されました。



(左から)村石佳奈子さん、中谷富美子さん、東漸(とうぜん)淑美さん、岡本真理子さん。



仕事を続けたい人が、安心して家庭と両立できる環境  
—従業員数や社員構成などを教えてください—  
中谷：役員を除いて正社員が9名、パート・アルバイト従業員



中谷富美子さん

45名です。正社員の女性は3名で、その中の1名が管理職です。全体の7割以上が女性です。  
—育児休暇制度はどのように始まったのですか—  
中谷：きっかけは、東漸さんが子どもを産んでもこの仕事を続けたい」と意思表示したことです。  
東漸：接客が好きで仕事が楽しいというのほもちろんありませんが、「また戻ってきたい」と思える職場だったからです。子育てが一段落してから働いている人もいて、育児に理解のある人が多いと思います。  
中谷：本人から職場復帰したいと希望があったらちょうどその頃、産前産後休業期間中の従業員の



東漸淑美さん

社会保険料免除が始まりました(平成26年4月開始)。  
東漸さんのようなベテランが辞めるのは惜しいですし、保険料免除の制度のおかげもあって、育児休暇制度を取り入れられました。昨年度も2人が取得しています。  
休暇中の人も子どもを連れて職場へ顔を見せてくるので、自然な形でお互いの情報を交換しています。東漸さんも休暇中に訪ねてくれて、こちらが普段気付かない視点、お客様の目線で情報をくれることができました。  
—仕事と家庭の両立については、いかがですか—  
東漸：職場復帰してからは子どもと向き合う時間がどうしても減りますから、そういう点で心苦しいことはありません。

でも、両立で大変だと思っことはありませんでした。職場で、空いた時間に社長や同僚に育児の悩みを話すとアドバイスももらえたり、復帰して良かったなと思います。勤務のシフトについても、時間帯や曜日を保育園に合わせて考慮してもらえます。急な休みもお互い様、みんな

力発揮できる動きやすいポジションを  
—村石さんが興行部課長になった経緯を教えてください—  
中谷：「長野グランドシネマズ」が平成18年にシネマコンプレックスとしてオープンしまして、村石さんはその時からのスタッフの一人です。



村石佳奈子さん

村石：「オープニングスタッフ募集」の広告を見て、「映画館なんて

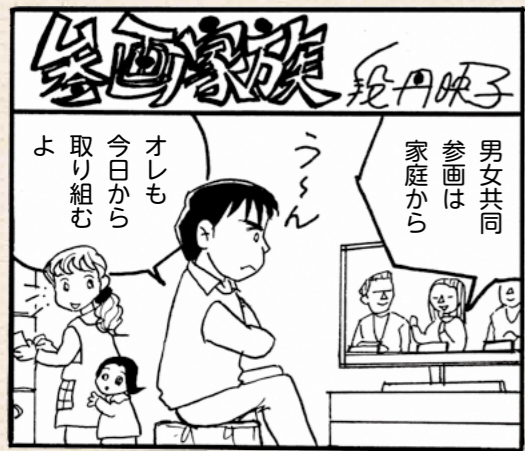
あまりない職業だし、全員がからのスタートで楽しそう」と思い応募して、アルバイトを始めたのがきっかけです。  
—これまでアルバイトから社員に採用された人は?—  
村石：全部で9人です。私は当時のマネージャーから、社員採用を考えているかどうか、と声をかけられまして、そういうことでしたらぜひ、と答えました。  
中谷：仕事のスキルと行動力がある人は、社員に上げていきたくて考えていました。そうすることで男性も女性も、職場全体のモチベーションが上がります。  
更に村石さんには対外的な仕事も期待していたので、遠慮なく力を発揮できるように課長職に就けました。仕事のできる人が動きやすい、働きに値するポジション



岡本真理子さん

が必要だと考えました。  
—みなさんにとって、どんな職場ですか—  
岡本：勤務時間はシフト制で、バランスよく配置されているので負担が偏ることはありません。  
村石：話しやすい職場です。現場のことを、社長は良く聞いてくれます。アルバイトから社員になった人が、上と下を繋ぐパイプ役をすることもあります。

東漸：女性の会を設けてもらっていて、困ったことなど聞いてほしいことがあれば言っています。  
中谷：前に社員が仕入れの欠品を出したことがあって、当時アルバイトだった岡本さんが、「もったいないじゃないですか!」とせっかく売れる時に「って言っていたことがあったよね」。  
岡本：そうですね(笑)、オープニングからやってきて、やはり思い入れは強いんです。私たちがオープンさせたぞ、と。映画館と一緒に成長してきた感じがします。  
中谷：従業員みんなに、県内一位の、お客様に身近な映画館であり続けたいという気持ちがあり、自分たちで映画館を作っていくんだという意識は、強いんです。



お問い合わせ  
長野市男女共同参画センター  
TEL / 026-237-8303  
〒380-0814 長野市大字鶴賀西鶴賀町1481-1  
Eメール / danjo-c@city.nagano.lg.jp  
https://www.city.nagano.nagano.jp/  
国際ソロプチミスト長野一みず様より、男女共同参画啓発事業のため、ワイヤレスポータブル拡声器、CDラジカセを寄贈していただきました。

好きな映画・思い出の映画を聞きました

- 毎回泣いてしまうのが「ニュー・シネマ・パラダイス」。当館のオープニング上映作品です(中谷さん)
- 映画を好きになるきっかけが「バック・トゥ・ザ・フューチャー」でした。今観てもワクワクします(村石さん)
- 「ブレイブハート」は、曲と映像に衝撃を受けました(東漸さん)
- ホラー映画が好き。「SAW(ソウ)」は最後のどんぞん返しスゴい、奥深い作品です(岡本さん)